

10.トイレ 4 -GORGE-(土の3D プリンターで作成されたトイレ)



大阪・関西万博に設けられた「トイレ 4〈Gorge〉」は、浜田晶則建築設計事務所 AHA が手がけた、自然と人と技術をつなぐ実験的な建築です。従来のトイレ建築のイメージを超えて、土という古くからの素材と、3D プリンターという最先端の技術を組み合わせることで、全く新しい空間を形づくろうとしている点に大きな魅力を感じました。



デザインの最大の特徴は、直線や平面を基調とした従来建築の枠組みから離れ、峡谷や岩肌を思わせる有機的なフォルムを追求しているところです。自然界の造形を参照しながら、それを技術によって現実化させるという姿勢に、建築の未来的な可能性を感じます。魅力的なのは、素材に対する考え方です。使用される土や藁、海藻糊などはすべて国内で調達可能なものに限られており、万博終了後には自然に還することができる設計になっています。



未来の建築が持つべき「循環性」を、デザインそのものに落とし込んでいる点はとても先進的だと思います。人が日常的に利用するトイレという身近な場にこそ、新しい素材やデザイン思想を落とし込むことで、多くの人に建築の可能性を体感させることができると思います。

自然と人と機械の共生を象徴するデザインとして、とても魅力的なプロジェクトだと感じました。